

計 画 書

鹿児島都市計画道路の変更(鹿児島市決定)

都市計画道路中3・3・10号海岸通線ほか1路線を次のように変更する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備 考
	番号	路線名	起 点	終 点	主 な 経過地		延 長	構 造 形 式	車 線 の 数	幅 員	
幹線街路	3・3・10	海岸通線	鹿児島市 小川町	鹿児島市 和田町	鹿児島市 甲突町	約 12,380m	地表式	4車線	27m	自動車専用道路と立体交差 1箇所 幹線街路鴨池港線、小松原 山田線及び本城和田線と立 体交差 幹線街路と平面交差33箇所	
	車線の数の内訳		2車線			約 4,270m	/				
	車線の数の内訳		4車線			約 8,110m					
	3・2・6	駅前本通線	鹿児島市 小川町	鹿児島市 南林寺町	鹿児島市 金生町	約 2,000m	地表式	6車線	36m	幹線街路と平面交差10箇所 併用軌道区間あり	
	車線の数の内訳		4車線			約 670m	/				
	車線の数の内訳		6車線			約 1,330m					
なお、鹿児島市浜町地内に鹿児島駅前広場を設ける。										面積約 10,000㎡	

「区域及び立体的な範囲は計画図表示のとおり」

変更対照表

海岸通線

区分	種別	名称		位置			区域	構造				備考	
		番号	路線名	起点	終点	主な経過地		延長	構造形式	車線の数	幅員		地表面式の区間における鉄道等との交差の構造
前	幹線街路	3・3・10	海岸通線	鹿児島市小川町	鹿児島市和田町	鹿児島市甲突町	約12,380m	地表式	4車線	27m	自動車専用道路と立体交差1箇所 幹線街路鴨池港線、小松原山田線及び本城和田線と立体交差 幹線街路と平面交差33箇所		
		車線の数の内訳		2車線			約4,270m	/					
				4車線			約8,110m						
		構造形式の内訳		鹿児島市小川町	鹿児島市小川町	鹿児島市小川町	約160m	地表式	2車線	15m	幹線街路と平面交差1箇所		
				鹿児島市小川町	鹿児島市堀江町	鹿児島市住吉町	約1,370m	地表式	4車線	25m	幹線街路と平面交差6箇所		
				鹿児島市堀江町	鹿児島市郡元三丁目	鹿児島市下荒田四丁目	約3,780m	地表式	4車線	27m	自動車専用道路と立体交差1箇所 幹線街路鴨池港線と立体交差 幹線街路と平面交差11箇所		
				鹿児島市郡元三丁目	鹿児島市小松原一丁目	鹿児島市宇宿三丁目	約2,960m	地表式	4車線	25m	幹線街路と平面交差7箇所		
				鹿児島市小松原一丁目	鹿児島市小松原二丁目	鹿児島市東谷山一丁目	約1,020m	地表式	2車線	30m	幹線街路小松原山田線と立体交差 幹線街路と平面交差2箇所		
				鹿児島市小松原二丁目	鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市小松原二丁目	約510m	地表式	2車線	15m	幹線街路と平面交差1箇所		
				鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市谷山中央二丁目	約250m	地表式	2車線	18m	幹線街路と平面交差2箇所		
鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市和田町			鹿児島市谷山中央二丁目	約2,330m	地表式	2車線	15m	幹線街路本城和田線と立体交差 幹線街路と平面交差3箇所				
なお、鹿児島市浜町地内に鹿児島駅前広場を設ける。										面積約 6,500㎡			

区分	種別	名称		位置			区域	構造				備考
		番号	路線名	起点	終点	主な経過地		延長	構造形式	車線の数	幅員	
後	幹線街路	3・3・10	海岸通線	鹿児島市小川町	鹿児島市和田町	鹿児島市甲突町	約12,380m	地表式	4車線	27m	自動車専用道路と立体交差1箇所 幹線街路鴨池港線、小松原山田線及び本城和田線と立体交差 幹線街路と平面交差33箇所	
		車線の数の内訳		2車線			約4,270m					
				4車線			約8,110m					
		構造形式の内訳		鹿児島市小川町	鹿児島市小川町	鹿児島市小川町	約160m	地表式	2車線	15m	幹線街路と平面交差1箇所	
				鹿児島市小川町	鹿児島市堀江町	鹿児島市住吉町	約1,370m	地表式	4車線	25m	幹線街路と平面交差6箇所	
				鹿児島市堀江町	鹿児島市郡元三丁目	鹿児島市下荒田四丁目	約3,780m	地表式	4車線	27m	自動車専用道路と立体交差1箇所 幹線街路鴨池港線と立体交差 幹線街路と平面交差11箇所	
				鹿児島市郡元三丁目	鹿児島市小松原一丁目	鹿児島市宇宿三丁目	約2,960m	地表式	4車線	25m	幹線街路と平面交差7箇所	
				鹿児島市小松原一丁目	鹿児島市小松原二丁目	鹿児島市東谷山一丁目	約1,020m	地表式	2車線	30m	幹線街路小松原山田線と立体交差 幹線街路と平面交差2箇所	
				鹿児島市小松原二丁目	鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市小松原二丁目	約510m	地表式	2車線	15m	幹線街路と平面交差1箇所	
				鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市谷山中央二丁目	約250m	地表式	2車線	18m	幹線街路と平面交差2箇所	
鹿児島市谷山中央二丁目	鹿児島市和田町			鹿児島市谷山中央二丁目	約2,330m	地表式	2車線	15m	幹線街路本城和田線と立体交差 幹線街路と平面交差3箇所			

駅前本通線

区分	種別	名称		位置			区域	構造				備考	
		番号	路線名	起点	終点	主な経過地	延長	構造形式	車の線数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造		
前	幹線街路	3・2・6	駅前本通線	鹿児島市小川町	鹿児島市南林寺町	鹿児島市金生町	約1,810m	地表式	/	36m	/		
後	幹線街路	3・2・6	駅前本通線	鹿児島市小川町	鹿児島市南林寺町	鹿児島市金生町	約2,000m	地表式		6車線	36m	幹線街路と平面交差10箇所併用軌道区間あり	
		車線の数の内訳		4車線			約670m	/					
		車線の数の内訳		6車線			約1,330m						
		構造形式の内訳		鹿児島市小川町	鹿児島市山下町	鹿児島市山下町	約670m	地表式	4車線	36m	幹線街路と平面交差6箇所併用軌道区間あり		
		構造形式の内訳		鹿児島市山下町	鹿児島市南林寺町	鹿児島市大黒町	約1,330m	地表式	6車線	36m	幹線街路と平面交差4箇所併用軌道区間あり		
なお、鹿児島市浜町地内に鹿児島駅前広場を設ける。											面積約10,000㎡		

理 由 書

鹿児島駅周辺地区については、鹿児島の北の玄関口として、鉄道、市電、バス、フェリーなどの公共交通機関が集積している一方で、交通相互の結節機能や待合環境が十分とは言えず、また、公共公益施設の移転等に伴う地区の活力低下への対応が必要となっている。

『鹿児島都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』及び『かごしま都市マスタープラン』においては、「旧国鉄用地等を活用した鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業により、都市基盤の再整備や交通結節機能の強化を進めるなど、にぎわいのある新たな都市拠点の形成を図る。」こととしており、この内、旧国鉄用地については、上町ふれあい広場等（かんまちあ）として整備し、魅力ある新たなにぎわい創出の都市拠点として、平成28年10月から供用したところである。

今回、交通結節機能の強化を図り、さらなるにぎわいの創出に資するため、鹿児島駅前広場を本案のとおり変更しようとするものである。

なお、今回の決定に併せ、交通処理の観点から、鹿児島駅前広場を都市計画道路「海岸通線」の付属広場から、市電軌道を有する都市計画道路「駅前本通線」の付属広場へ変更することとする。

計 画 書

鹿児島都市計画道路の変更(鹿児島市決定)

都市計画道路8・7・7号鹿児島駅自由通路を次のように追加する。

種別	名 称		位 置			区 域	構 造				備考
	番号	路線名	起 点	終 点	主 な 経過地	延 長	構 造 形 式	車 線 の 数	幅員	地表式の区間における 鉄道等との交差の構造	
特殊 街路	8・7・7	鹿児島駅 自由通路	鹿児島市 浜町	鹿児島市 浜町	鹿児島市 浜町	約 103m	地表式	—	3m	JR鹿児島本線と立体交 差	歩行者 専用道 路
	立体的な範囲		鹿児島市浜町の区間(延長約73m、幅員約3m)において、立体的な範囲を定める。								

「区域及び立体的な範囲は計画図表示のとおり」

理 由 書

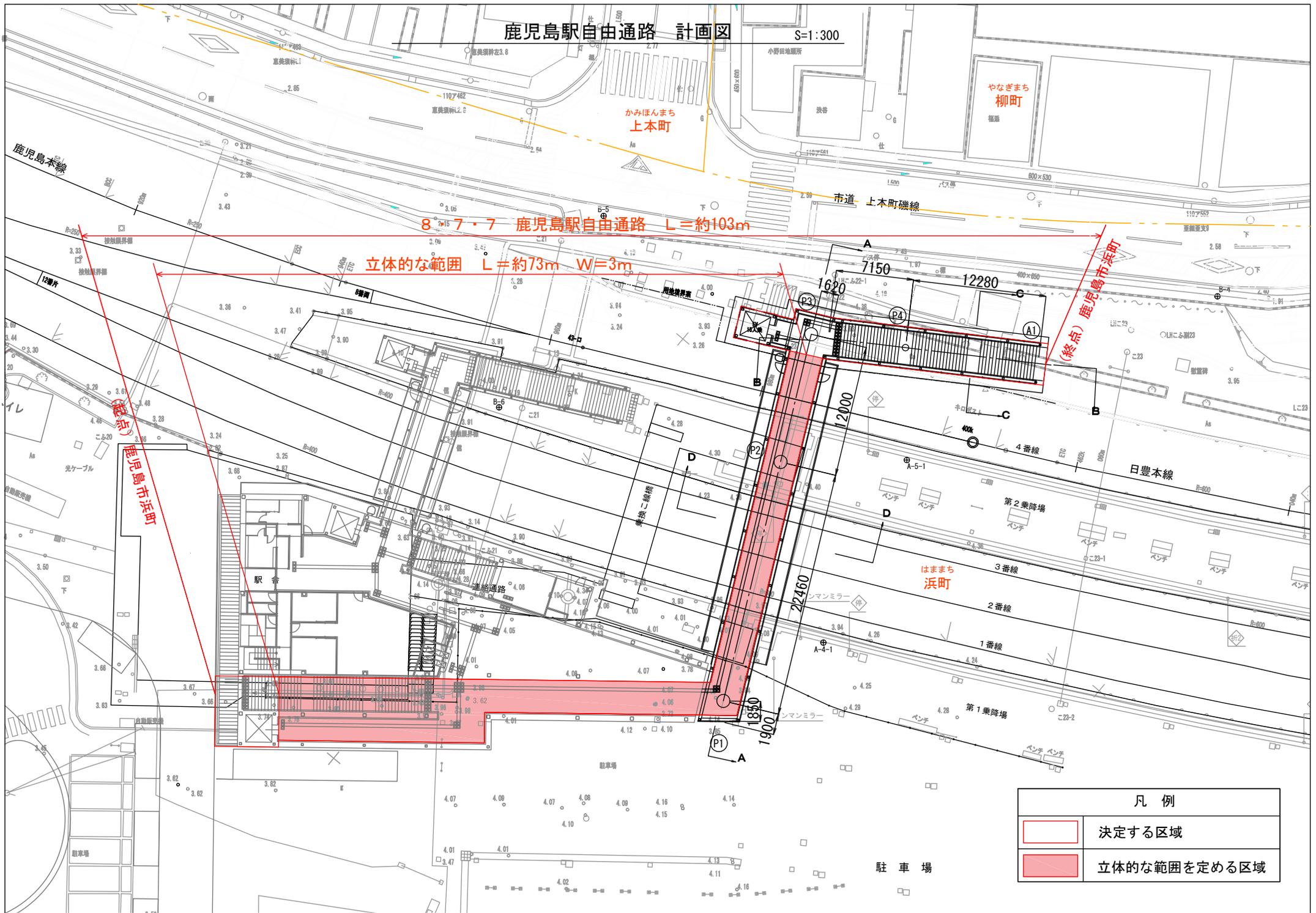
鹿児島駅周辺地区については、鹿児島の北の玄関口として、鉄道、市電、バス、フェリーなどの公共交通機関が集積している一方で、交通相互の結節機能や待合環境が十分とは言えず、また、公共公益施設の移転等に伴う地区の活力低下への対応が必要となっている。

『鹿児島都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』及び『かごしま都市マスタープラン』においては、「旧国鉄用地等を活用した鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業により、都市基盤の再整備や交通結節機能の強化を進めるなど、にぎわいのある新たな都市拠点の形成を図る。」こととしており、この内、旧国鉄用地については、上町ふれあい広場等（かんまちあ）として整備し、魅力ある新たなにぎわい創出の都市拠点として、平成28年10月から供用したところである。

今回、交通結節機能の強化とさらなるにぎわいの創出を目的とした鹿児島駅前広場の整備に併せ、駅周辺の歩行環境の向上及び公共交通機関利用の利便性の向上に資する立体的な範囲を有する都市計画道路（特殊街路）を本案のとおり決定しようとするものである。

鹿児島駅自由通路 計画図

S=1:300



8 7・7 鹿児島駅自由通路 L ≈ 約103m

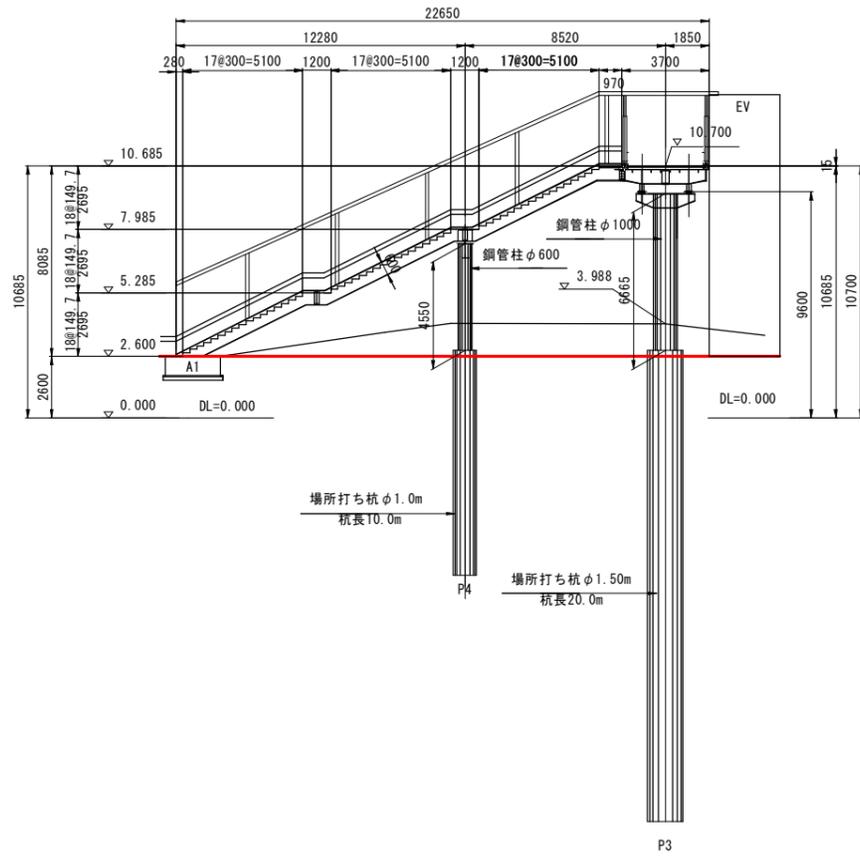
立体的な範囲 L ≈ 約73m W = 3m

凡例	
	決定する区域
	立体的な範囲を定める区域

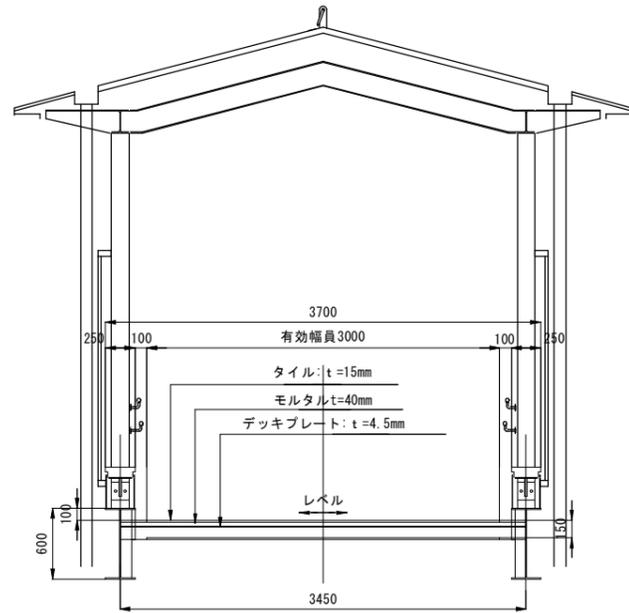
駐車場

鹿児島駅自由通路 計画図 (断面図 1)

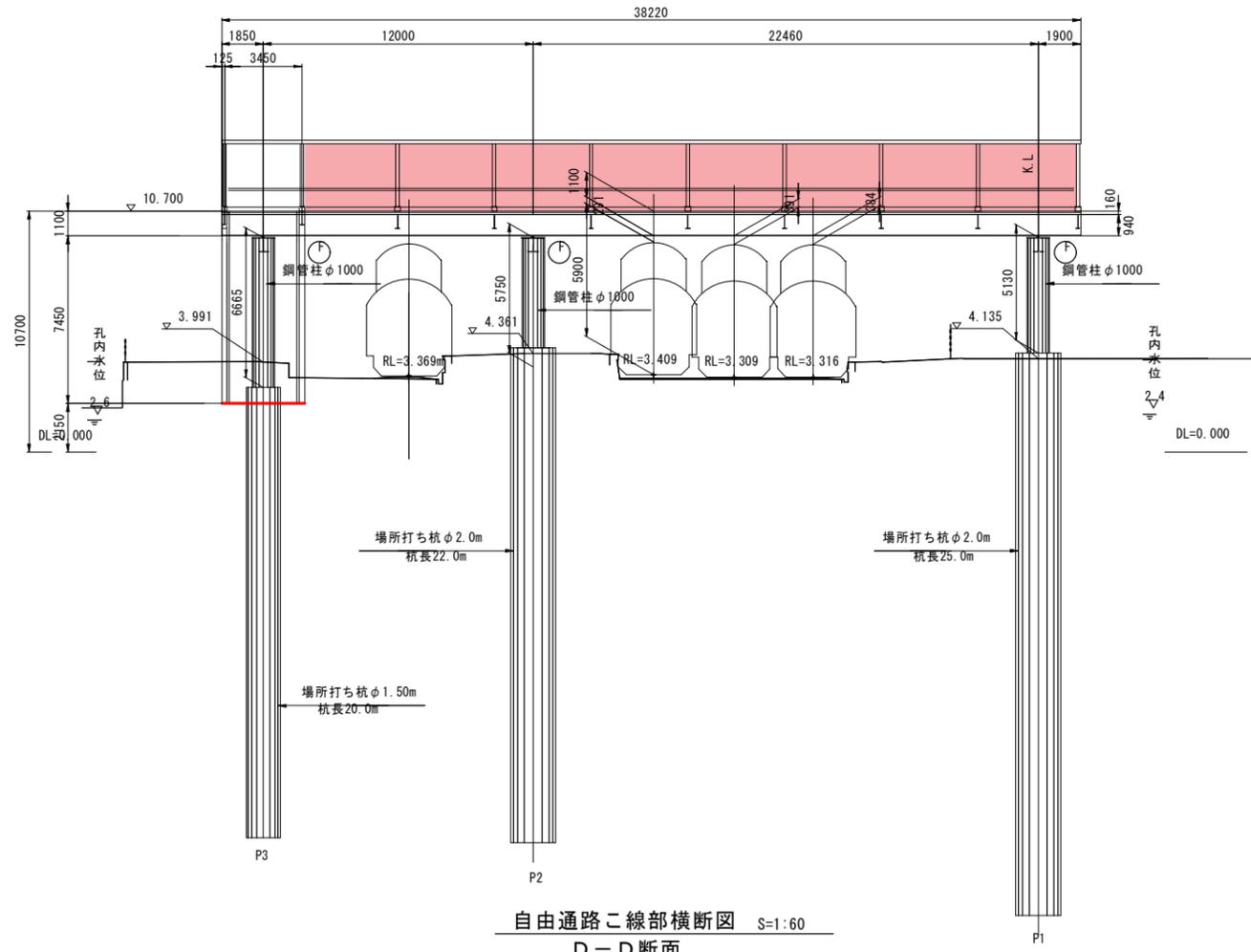
階段部 S=1:300
B-B断面



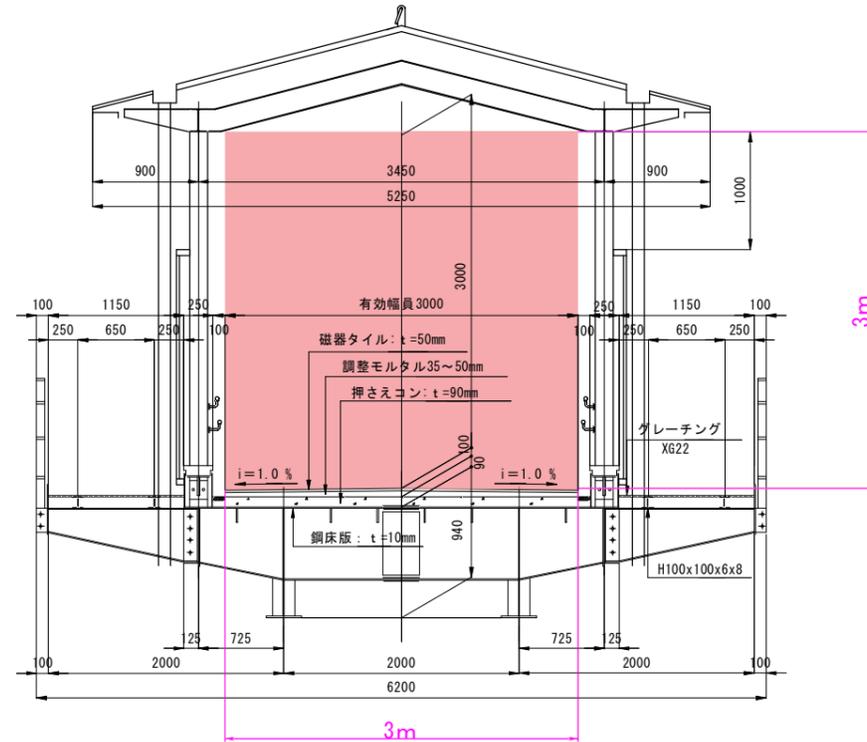
自由通路階段部 S=1:60
C-C断面



自由通路ご線部側面図 S=1:300
A-A断面



自由通路ご線部横断面 S=1:60
D-D断面



鹿児島駅自由通路 計画図 (断面図2)

S=1:200

